

2020年7月20日
ENEOSホールディングス株式会社
株式会社 Luup

電動マイクロモビリティの社会普及に向けた協業開始について

ENEOSホールディングス株式会社（社長：大田 勝幸、以下「ENEOSホールディングス」）および株式会社 Luup（社長兼CEO：岡井 大輝、以下「Luup」）は、電動・小型・一人乗りの電動マイクロモビリティの社会普及に向けて、協業を開始いたします。また、協業開始に先立ち、本日、ENEOSホールディングスはENEOSイノベーションパートナーズ合同会社（社長：矢崎 靖典）を通じて、Luupへ資本参画しましたので、お知らせいたします。

ENEOSホールディングスでは「持続可能なモビリティインフラ」をテーマに革新的事業の創出を目指しています。一方、Luupは、マイクロモビリティのシェアリング事業を通して、日本に新しい短距離移動インフラを創ることを目指しています。2019年度に開催したENEOSホールディングス（当時：JXTGホールディングス）のアクセラレータープログラム^{※1}において、電動キックボードをはじめとする電動マイクロモビリティのシェアリングに関するLuupの事業提案が採択されて以降、両社は協業の検討を進めてまいりました。

今後の超高齢化社会においては、ワンマイルの移動手段が不十分であることによる買い物難民や高齢者の自動車事故といった課題が予想され、それを解決する乗り物として電動マイクロモビリティ^{※2}が注目されています。本協業では、電動マイクロモビリティに関し、2023年をめどにシェアリングと最適なエネルギー供給体制の構築を行い、誰もが自由に移動できる社会の実現を目指します。

また、両社は、日本国内における電動マイクロモビリティ普及の課題である規制対応についても、本協業を通じて連携していく予定です。

両社は、お客様・社会が求めるサービスを創出し、社会の発展と活力のある未来づくりに貢献してまいります。

※1 アクセラレータープログラムのプレスリリース

<https://www.hd.eneos.co.jp/newsrelease/20191107-02-0906370.pdf>

※2 本協業では、世界的に普及が進んでいる二輪電動キックボードを皮切りに、充電インフラの拡充を目指し、高齢者にも安心して乗っていただける四輪電動キックボードやシニアカーなどの普及も目指していきます。

<参考> 各社概要

(1) ENEOSホールディングス株式会社

代表者	代表取締役社長 大田 勝幸
所在地	東京都千代田区大手町1-1-2
事業内容	エネルギー事業、石油・天然ガス開発事業、金属事業を行う子会社およびグループ会社の経営管理ならびにこれに付帯する業務

(2) ENEOSイノベーションパートナーズ合同会社

代表者	社長 矢崎 靖典
所在地	東京都千代田区大手町1-1-2
事業内容	未来事業推進のための投資およびその管理
設立日	2019年10月1日
株主構成	ENEOSホールディングス100%

(3) 株式会社 Luup

代表者	代表取締役社長兼 CEO 岡井 大輝
所在地	東京都渋谷区東1-8-4 INO SHIBUYA1-2F
事業内容	電動マイクロモビリティのシェアリングサービス「LUUP (ループ)」の提供
設立日	2018年7月
従業員数	15名(2020年7月時点)
備考	・マイクロモビリティ推進協議会を2019年5月に設立、Luup 代表岡井が会長に就任 ・2020年5月より、街じゅうの電動アシスト自転車に、どこからでも乗れて好きな場所に返せるシェアサイクルサービス「LUUP (ループ)」を、渋谷区、目黒区、港区、世田谷区、品川区、新宿区の6エリアの一部で提供中

LUUP アプリダウンロードURL : <https://itunes.apple.com/app/id1445630390>



<本件に関するお問い合わせ先>

報道機関の方	ENEOSホールディングス株式会社 広報部広報グループ TEL : 03-6257-7150
	株式会社 Luup 広報担当 松本 TEL : 090-6536-1115 E-mail : pr@luup.co.jp

以上